

The background features large, stylized geometric shapes composed of smaller triangles and squares. On the left, there are pink and yellow patterns. On the right, there are blue and yellow patterns. These shapes are arranged in a way that they appear to be part of a larger, abstract design.

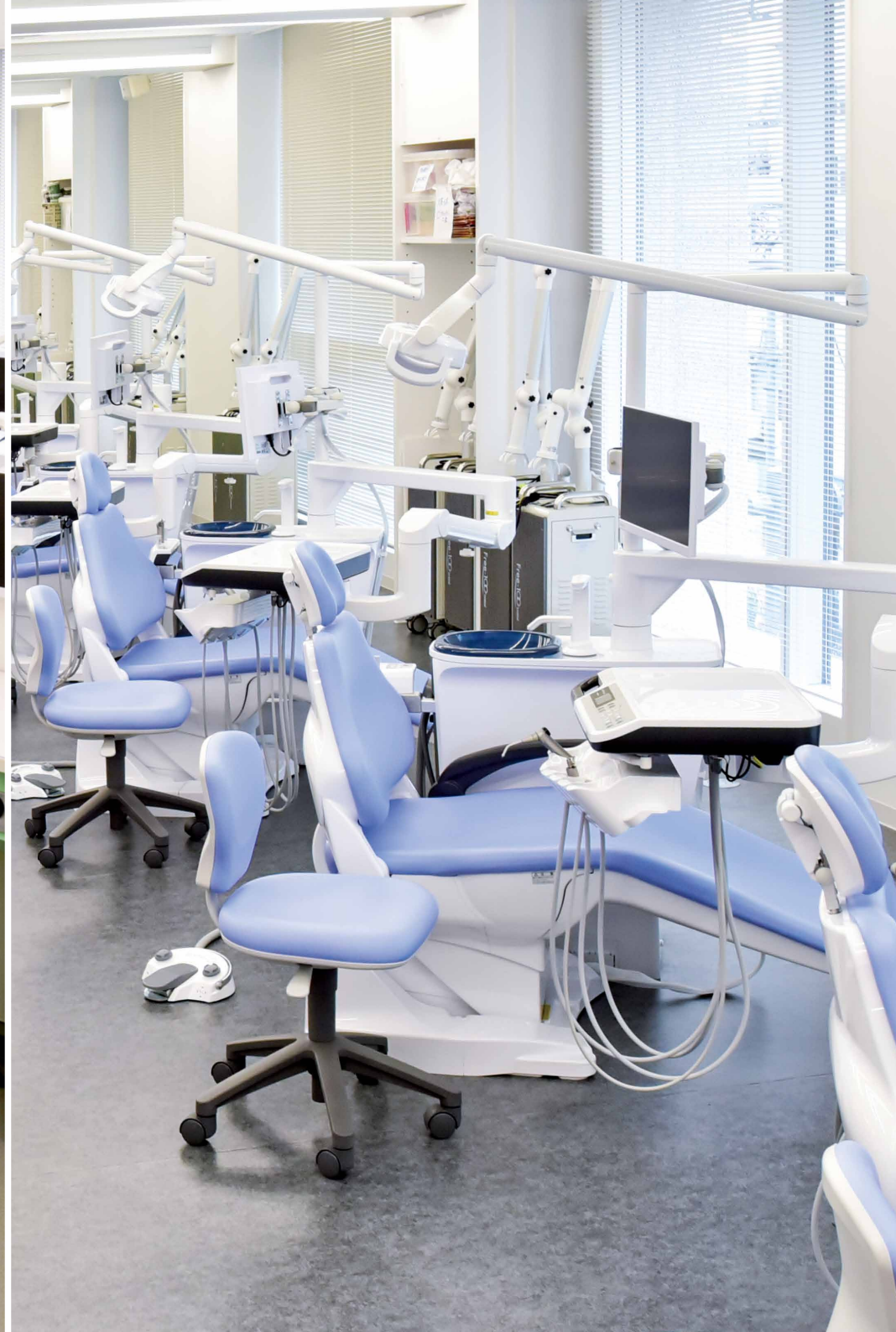
日本歯科大学東京短期大学

The Nippon Dental University College at Tokyo

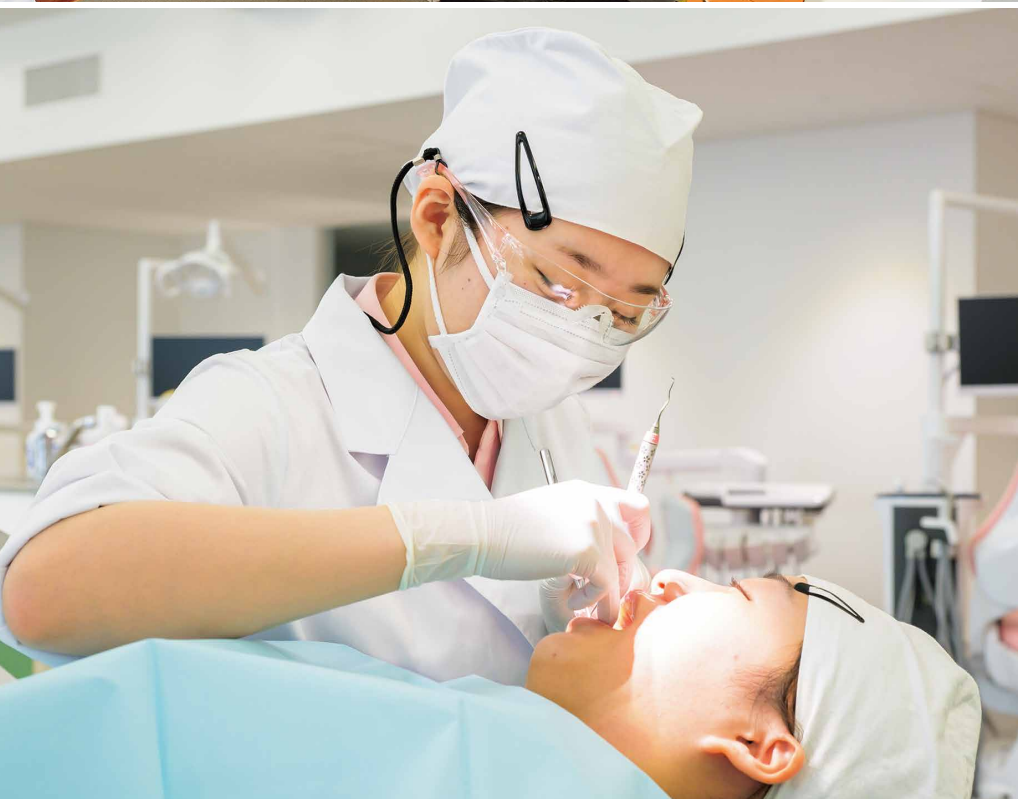
歯科技工学科 歯科衛生学科 専攻科 [歯科衛生学専攻]

新しいキャンパスで歯科医療を支える プロフェッショナルを目指そう









MESSAGE



口は「食べる」「呼吸する」「話す」「笑う」など、生命の維持や人間らしい生活や表情をつくる器官として大切な役割を果たしています。超高齢化が進む社会では、いくつになっても健康で快適に生きること、すなわち「健康寿命の延伸」が重要な課題となっています。近年、口の中の健康が全身の健康に密接に関連していることが明らかになってきました。口の中の健康を保つ「口腔保健」と、口のはたらき「口腔機能」を維持、管理することが重要視され、歯科医療との関わりが注目されています。このような背景から、この領域のスペシャリストである歯科技工士と歯科衛生士は、人間の生きる力を支援する、やりがいのある重要な職業といえるでしょう。

本学は1968（昭和43）年に日本歯科大学の附属専門学校として開校されて以来、2005（平成17）年の短期大学昇格を経て、50年以上の歯科技工士と歯科衛生士の教育実績があり、有為の人材を社会に送り出してきました。

優れたカリキュラム、確かな指導力、充実した最新設備の日本歯科大学東京短期大学で、歯科技工士・歯科衛生士を目指してみませんか。

本学を知っていただくために、本冊子の他、オープンキャンパス、個別相談会、見学会を実施致します。どうぞ、これらの機会を活用して本学の素晴らしさをご確認ください。

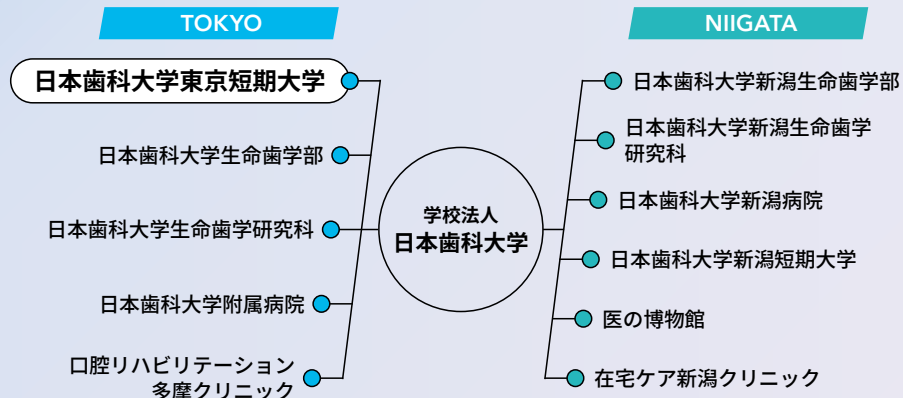
教職員一同、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

日本歯科大学東京短期大学 学長 俣木 志朗

POINT

1 世界最大の 歯科大学である 学校法人日本歯科大学

日本歯科大学は、1907(明治40)年にわが国最初の歯科医学校として創立され、東京と新潟に2つの短期大学、2つの歯学部、2つの附属病院を持ち卒業生総数2万人以上を送り出している世界最大の歯科大学です。本学は、その学校法人の一員です。



POINT

2 日本歯科大学 附属病院での 充実した臨床実習

実際の患者さんに
触れることができる
貴重な実習

臨床実習は、日本歯科大学附属病院で行われます。様々な診療科を持ち、多数の医療スタッフや患者さんから多くのことが学べる臨床実習は本学の大きな特長です。



POINT

3 抜群の国家試験合格率、 求人倍率、 学士・学位取得率

国家試験合格率
だけでなく、
求人倍率も高い!

前身の附属歯科専門学校から、歯科技工学科、歯科衛生学科ともに、極めて高い国家試験合格率を誇っています。就職に関しても、卒業生に対して、歯科技工学科、歯科衛生学科ともに10倍~20倍の求人数があります。また、専攻科歯科衛生学専攻では、これまで修了生全員が学士の学位を取得しています。



POINT 4 最新・最適な教育環境

蔵書数14万冊、126席の閲覧席がある図書館や、160台のパソコンが設置してあるパソコンルームなど、**生命歯学部**の施設を使用することができます。また、**CAD/CAMや3Dプリンターを用いた歯科医療技術**や、口腔健康管理などの超高齢社会に対応可能な**歯科医療プロジェクト**を学ぶことにより、**次世代の歯科医療スペシャリスト**を目指します。



POINT 5 学科を越えてのつながり

歯科技工学科、歯科衛生学科、専攻科の学生および短大教職員が一同に集い、学生主催の**短大交流会**を行っています。また、1年次には、**歯科技工学科、歯科衛生学科合同授業**のコミュニケーション学などもあります。



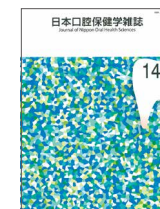
POINT 6 学位取得と臨床のプロフェッショナルを育てる専攻科

歯科衛生学科を卒業後、さらなる高みを目指し、臨床のプロフェッショナルを育てるための専攻科を設置しています。専攻科歯科衛生学専攻では、4年制大学卒業と同等の**学士（口腔保健学）の学位**を取得することができます。専攻科修了後には大学院への進学も視野に入れることができます。



POINT 7 地域歯科医療への貢献 国際的な 歯科医療教育支援

歯科衛生学科では、近隣の小中学校を対象に、歯みがき指導などの**校外授業**を長年にわたり行い、一般の方々にも**短大公開講座**を年に数回開催しています。また、2019(令和元)年から、モンゴル国立医療科学大学の教員・学生を対象に、教育支援研修を行っています。



年1回
発行

学術誌を刊行しています

2012(平成24)年3月から「日本歯科大学東京短期大学雑誌」を発行しています。2019(令和元)年12月には学外にもオープン化を図り『日本口腔保健学雑誌』としてリニューアルしました。本誌は、全国の歯科衛生士・歯科技工士学校に在籍する学生と、卒業生・修了者・教職員が研究成果を発表するための歯科専門学術雑誌です。本誌はJ-STAGEに登載され、論文にはDOIナンバーが付与され、国境を超えて多分野多方面からアクセスできるようになりました。

チーム医療を支えるプロフェッショナルへ

歯科技工士の仕事

豊富な知識と高度で確かな技術を必要としている患者さんのために

歯科技工士の仕事は、歯を失ったり、歯並びの矯正が必要な患者さんのために、人工的な歯や装置を作ることです。具体的には義歯（入れ歯）、歯冠修復物（詰め物・かぶせ物）や矯正装置（歯並びを治す装置）を製作します。また、それらの加工や修理も行います。これらの業務は有資格者のみが行えると法律で定められています。

このように歯科技工士の仕事はとても重要です。最近では、CAD/CAM というコンピューターを使用した歯科技工物の設計・製作技術も普及しています。また、歯の色や形をきれいにするために、歯科治療を希望される患者さんも多くなり、歯科技工士の需要は日々増えています。

- 義歯の製作 歯を失った患者さんの義歯を作ります。
- 歯冠修復物の製作 歯の一部が失われた患者さんの詰め物やかぶせ物を作ります。
- 矯正装置の製作 歯並びをきれいに治す装置を作ります。



義歯の製作



歯冠修復物の製作



矯正装置の製作

歯科技工士

歯科

歯科

将来の主な活躍の場：歯科技工所／歯科診療所／歯科器材メーカー（国内・海外）／大学附属病院・総合病院

歯科医療を支えるには、適切なチーム医療が必須です。

歯科医療従事者は、多岐にわたる歯科医療についての知識だけでなく口腔と全身との関わりや、健康に悩む方々に最適な医療を提供するチーム医療を荷う一員として、社会に貢献できる能力が必要です。

日本歯科大学東京短期大学で、歯科医療のプロフェッショナルへの道を拓きませんか？

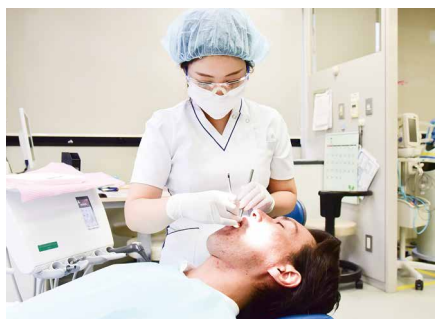
歯科衛生士の仕事

将来を約束される歯科医療スタッフ「お口の健康のエキスパート」

歯科衛生士の仕事は様々ですが、歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導の3つの業務に大別されます。歯科予防処置は、むし歯と歯周病を予防するために患者さんの口腔内を管理する歯科衛生士の業務独占です。歯科診療補助は、歯科医療行為の一部を歯科医師の指示で行います。歯科保健指導は、人々の健康の保持・増進を支援します。病気を治し、かつ癒すという、患者さんを主体とした歯科保健医療であるために、歯科衛生士は「お口の健康のエキスパート」として様々な健康回復・健康増進への支援を行います。

また、近年では口腔リハビリテーションや在宅歯科診療の分野でも活躍の機会が増えています。

- **歯科予防処置** フッ素塗布や歯石を除去することで、患者さんの歯や歯肉の健康を保ちます。
- **歯科診療補助** 歯科医師と連携して治療をスムーズに進める大切な業務です。
- **歯科保健指導** 歯みがき指導、義歯の使い方、生活習慣の改善、栄養指導など、口腔だけでなく全身との関わりを含めて患者さんを支援します。



歯科予防処置



歯科診療補助



歯科保健指導

将来の主な活躍の場 歯科診療所 / 市区町村保健センター / 大学附属病院・総合病院 / 歯科関連企業

歯科技工学科

歯科技工学科卒業時に短期大学士（歯科技工学）と歯科技工士国家試験受験資格が得られ、国家試験に合格して歯科技工士となります。

本学出身の歯科技工士は、国内外で高い評価を得ており、世界で活躍している人も多くいます。信頼できる技術を備えた歯科技工士のニーズは増大しています。

取得できる学位・資格

- ☐ 短期大学士（歯科技工学）
- ☐ 歯科技工士国家試験受験資格
- ☐ 上級救命技能認定

PROCESS

歯科技工学科 2年間

国家試験合格

就職

最新の技術と幅広い知識を修得し
社会で活躍する歯科技工士を育成





カリキュラム

	1 年	2 年
基礎分野	歯科理工学基礎 歯科理工学実習 歯及び口腔解剖学基礎 歯及び口腔解剖学実習基礎 顎口腔機能学 顎口腔機能学実習	専門基礎分野 関係法規総合 歯科理工学応用 歯科理工学総合 歯及び口腔解剖学応用 歯及び口腔解剖学総合 歯及び口腔解剖学実習応用 歯及び口腔解剖学実習総合 顎口腔機能学総合
基本英語 総合英語 美術概論 情報リテラシー 健康科学 法学 心理学(選択) 文章表現法(選択) コミュニケーション学	専門分野 有床義歯技工学基礎 有床義歯技工学実習基礎 歯冠修復技工学基礎 歯冠修復技工学実習基礎 矯正歯科技工学 小児歯科技工学	有床義歯技工学実習総合 歯冠修復技工学応用 歯冠修復技工学総合 歯冠修復技工学実習総合 矯正歯科技工学総合 矯正歯科技工学実習 小児歯科技工学総合 小児歯科技工学実習 歯科技工実習
専門基礎分野		専門分野
関係法規 歯科技工学概論		有床義歯技工学応用 有床義歯技工学総合 有床義歯技工学実習応用
		その他の科目
		統合歯科技工学実習

就職・進学先

おもな就職先

大手歯科技工所▶株式会社シケン/株式会社杏友会/株式会社ギコウ/株式会社中田デンタル・センター/QLデンタルメーカー/株式会社ZOO LABO など
 病院・歯科診療所▶埼玉医科大学総合医療センター/医療法人社団歯友会 赤羽歯科/スマイルデンタルクリニック/まつばら歯科医院/吉井矯正歯科クリニック など
 学生数に対し、毎年10倍以上の求人数があり、就職希望者は全員就職しております。歯科関係だけでなく、他の医療関係機関や海外からも募集があり、増加の一途をたっています。

おもな進学先

日本歯科大学附属病院 臨床口腔技工レジデント ベーシックコース

時間割(第1学年前学期) [参考例]*

時限	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	9:00	文章表現法(選択)●合同			歯科技工学概論	
	10:20	歯冠修復技工学実習基礎●	有床義歯技工学実習基礎●	歯冠修復技工学実習基礎●	歯冠修復技工学実習基礎●	歯冠修復技工学実習基礎●
2	10:35	情報リテラシー●合同	歯科理工学基礎●	コミュニケーション学●合同	歯科理工学基礎	
	11:55					
3	13:00	心理学(選択)●合同	有床義歯技工学実習基礎●	歯及び口腔解剖学実習基礎●	歯及び口腔解剖学基礎	有床義歯技工学実習基礎●
	14:20					歯冠修復技工学基礎●
4	14:35	健康科学●合同	基本英語●	総合英語●	歯冠修復技工学基礎	
	15:55					

●月曜日1・2・3・4時限、火曜日1・2・4時限、水曜日1・2時限、金曜日3・4時限は、前半と後半で授業科目が異なります。※時間割は変更になる場合があります。

学費について(学生納付金)

	項目	金額
学費	入学金	300,000 円
	授業料	1,210,000 円
	施設その他※	14,000 円
合計		1,524,000 円
2 年次年額		1,224,000 円
2 年間合計		2,748,000 円

※施設その他には、学生保険、学生会費を含み学納金ではありません。
 ・学納金とは別に教材費(教科書・器材・白衣等)がかかります。(前年度実績)1 年次 230,000 円、2 年次 34,000 円。
 ・学債や寄付金等の募集は、入学前・入学後とも行いません。

歯科衛生学科

歯科衛生学科卒業時に短期大学士（歯科衛生学）と歯科衛生士国家試験受験資格が得られ、国家試験に合格して歯科衛生士となります。

超高齢社会に突入したわが国において、歯科衛生士に対するニーズが多様化し、需要は増加の一途をたどっています。

取得できる学位・資格

- ☐ 短期大学士（歯科衛生学）
- ☐ 歯科衛生士国家試験受験資格
- ☐ 上級救命技能認定
- ☐ 認知症サポーター

PROCESS

歯科衛生学科 3年間

国家試験合格

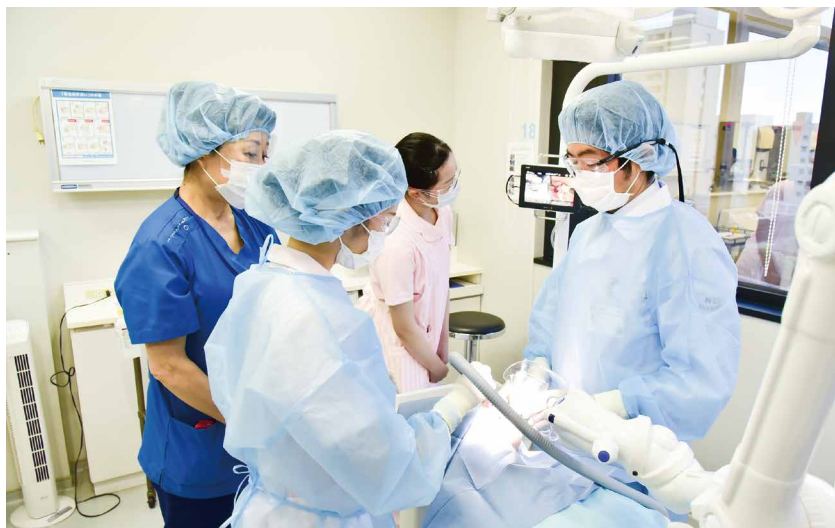
専攻科
歯科衛生学専攻
(学士の学位取得)

就職

将来活躍できる歯科衛生士を養成

豊かな教養と人間性を備えた





カリキュラム

1 年			
基礎分野 自然科学 コミュニケーション学 健康科学 実践英語 心理学 倫理学 情報リテラシー 文章表現法	専門基礎分野 生命科学概論 解剖学 生理学 栄養代謝学 口腔解剖学 組織発生学 病理学 微生物学 薬理学	口腔衛生学 衛生・公衆衛生学 衛生行政 社会福祉概論 専門分野 歯科衛生士概論 歯科診療補助論基礎 歯科診療補助基礎実習 歯科予防処置論基礎	歯科予防処置基礎実習 歯科保健指導論基礎 歯科保健指導基礎実習 栄養指導論 選択必修分野 実践スポーツ・健康学 フィジカル・エクササイズ
2 年		3 年	
専門基礎分野 地域保健活動論 専門分野 歯科保存学 歯周病学 歯科補綴学 口腔外科学 小児歯科学 矯正歯科学 歯科麻酔・全身管理学 歯科放射線学	高齢者歯科学 障害者歯科学 歯科予防処置応用 歯科予防処置応用実習 歯科保健指導論応用 歯科保健指導応用実習 歯科診療補助論応用 歯科診療補助応用実習 臨床・臨地実習Ⅰ その他の科目 看護概論	専門基礎分野 歯科保健統計学 専門分野 総合歯科予防処置論 総合歯科予防処置実習 総合歯科保健指導論 総合歯科診療補助実習 臨床・臨地実習Ⅱ* 選択必修分野 介護技術論	口腔保健管理学 チーム歯科医療論 歯科審美学 ヘルスプロモーション活動論 実践歯科英会話 卒業研究 その他の科目 言語発達・摂食嚥下学 基礎医学総論 臨床歯科学総論 歯科衛生学総論

*臨床・臨地実習Ⅱでは、多摩クリニックや総合病院での実習も行います。

就職・進学先

おもな就職先 附属病院・病院▶日本歯科大学附属病院／亀田総合病院歯科センター／昭和医科大学歯科病院／帝京大学医学部附属病院／東京歯科大学千葉歯科医療センター／連田病院／一般歯科診療所 など
行政機関▶鴻巣市役所／杉並区歯科保健センター／成田市健康こども部健康増進課 など
障害者センター▶東京都立心身障害者口腔保健センター／横浜市歯科保健医療センター など
歯科関連企業▶一般財団法人サンスター財団／株式会社ジーシー／日本口腔保健協会／公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 など

学生数に対し、**20倍近い**求人数があります。求人数は豊富で、様々な機関から必要とされています。

おもな進学先 日本歯科大学東京短期大学 専攻科歯科衛生学専攻 など

時間割（第1学年前期）[参考例]*

時限	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	9:00 10:20	文章表現法 合同	栄養指導論	歯科診療補助論 基礎●	コミュニケーション学 合同●	歯科予防処置論基礎
2	10:35 11:55	情報リテラシー 合同	歯科衛生士概論	倫理学●		歯科保健指導論基礎
3	13:00 14:20	心理学 合同	衛生・公衆衛生学	実践スポーツ・健康学(選択)●	生命科学概論●	口腔解剖学
4	14:35 15:55	健康科学 合同●	心理学●	生命科学概論	フィジカル・エクササイズ(選択)●	自然学●
					歯科診療補助基礎実習	社会福祉概論

●月曜日4時限、水曜日1・2・3・4時限は、前半と後半で授業科目が異なります。

※時間割は変更になる場合があります。

学費について（学生納付金）

	項目	金額
学費	入学金	300,000 円
	授業料	750,000 円
	施設その他※	40,000 円
合計		1,090,000 円
2年次以降年額		790,000 円
3年間合計		2,670,000 円

※施設その他には、学生保険、学生会費を含み学納金ではありません。

・学納金とは別に教材費(教科書・器材・白衣等)がかかります。(前年度実績)1年次157,000円、2年次59,000円、3年次30,000円。

・学債や寄付金等の募集は、入学前・入学後とも行いません。

専攻科 歯科衛生学専攻

入学後1年間でより専門的な知識と技能を修得します。講義と実習は、本学専任教員ならびに日本歯科大学生命歯学部・附属病院の教員が専門とする分野を担当し、熱心な指導をします。さらに、応用能力と将来の歯科医療を担う指導的立場のプロの歯科衛生士を目指し、総合病院や認定歯科衛生士の勤務する歯科診療所および介護予防の事業や中学校のフィールド活動など、多彩な臨床研修施設で自分の興味のある分野での実習が選択できます。

専攻科歯科衛生学専攻は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から2015(平成27)年に特例適用認定専攻科に認められました。本学歯科衛生学科を卒業した方は、同機構の小論文試験が免除されます。本専攻での単位修得と機構の審査に合格すると、学士(口腔保健学)の学位が授与されます。2009(平成21)年の開設以来、専攻科修了生全員が学士の学位を取得しています。

4年制大学卒業と同等の

学士(口腔保健学)の学位資格取得が目指せます。





カリキュラム

1 年

基礎分野 (選択必修)

歯科医学総論 (選択)
ヘルスプロモーション演習 (選択)
研究方法論

専門基礎分野

歯科衛生学特論
臨床歯科医学特論
高度先進歯科医療論
小児・障害者歯科医療論
審美造形歯科論

口腔疾患予防法研究
口腔保健指導法研究
歯科栄養指導法研究
歯科検査・口腔保健管理実習
臨床・臨地特別実習
専攻科特別研究

就職・進学先

おもな就職先

総合病院・病院▶日本歯科大学附属病院／口腔リハビリテーション多摩クリニック／国立がん研究センター中央病院／埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科／静岡県立静岡がんセンター (レジデント)／昭和医科大学歯科病院／東京医科大学病院／東京都立駒込病院 歯科口腔外科／東京都立多摩総合医療センター／日本医科大学付属病院／日本医科大学武蔵小杉病院／順天堂大学医学部附属順天堂医院／国際医療福祉大学成田病院／藤田医科大学病院／上尾中央総合病院／海老名総合病院／亀田クリニック 亀田メディカルセンター など

大学勤務▶日本歯科大学生命歯学部 歯科基礎系講座 衛生学講座

行政機関▶足立区保健所／公益社団法人渋谷区口腔健康支援センター／東金市保健福祉センター／千代田区保健所

養成機関▶日本歯科大学東京短期大学 歯科衛生学科など

おもな進学先 広島大学大学院 医歯薬保健学 研究科

FACILITY

施設紹介

学生は、日本歯科大学の保有する施設を利用することができます。飯田橋の駅前にある附属病院と体育館。また徒歩数分のところには、日本歯科大学生命歯学部や図書館があります。その他にも、女子寮など、様々な施設があります。

図書館



学生に人気の 図書館

図書約81,000冊、雑誌約69,100冊などの他、各種資料、150,000冊以上を所蔵しています。パソコンから簡単に蔵書の検索も行えます。また、自習室も充実しており、「一人席で落ち着いて勉強できる」という声も多く、学生に好評です。

日本歯科大学附属病院



充実した 臨床の場

日本歯科大学附属病院は、明治40年に開設された歴史ある病院です。主に、臨床実習の場として利用することになります。実際に患者さんに携わり臨床経験を積みま

東京木場寮



セキュリティ完備で 交通の便も良好

完全個室でオートロック完備、管理人さん常駐の女子寮。地下鉄東西線「木場駅」から徒歩5分、本学のある飯田橋駅から木場駅までは東西線直通で14分の至近距離です。

室内



富士見ホール



九段ホール



多目的に 活用されるホール

入学式や卒業式などの行事の他、歯科衛生学科の病院実習オリエンテーションなどで使用します。

体育館



ガラス張りの 明るい体育館

体育館は、附属病院と隣接しています。授業やクラブ活動などで使用します。体育館の上の階には武道場もあります。

武道場



パソコンルーム



160人が一度に 受講できる環境

生命歯学部があり、本学学生も授業で使用しています。通信環境も整っていて、授業時間外にも自習に使うことができます。

ホールオアシス



生命歯学部との 交流の場

日本歯科大学生命歯学部の1階にあります。昼食時は学生食堂として利用され、本学学生と生命歯学部学生との交流の場となっています。

CLUB

クラブ活動

クラブ活動は、日本歯科大学生命歯学部と一緒で活動することが大きな特長です。短期大学生だけでなく生命歯学部の学生との交流の場であり、様々な体験が期待できます。スポーツ部、文化部および学部に分かれており、クラブ活動の数もたくさんありますので、入学した際には自分にあった部活動を選んでぜひ参加してみてください。



スポーツ部	
合気道部	水泳部
アクアリング部	スキー部
アーチェリー部	ソフトテニス部
アメリカンフットボール部	卓球部
空手部	馬術部
剣道部	バスケットボール部
硬式庭球部	バドミントン部
硬式野球部	バレーボール部
ゴルフ部	ヨット部
サッカー部	ラグビー部
柔道部	陸上部
少林寺拳法部	ワンダーフォーゲル部
文化部	学部
美術部	歯科矯正学研究会
アンサンブル部	歯科補綴学研究会
シティー・ミュージック部	歯科理工学研究会
ライト・ミュージック部	食支援研究会
ロック部	APDSA (アジア太平洋歯科学生会議)
解剖学研究会	

小金井スポーツ施設



小金井スポーツ施設は、飯田橋駅から電車で約35分、JR中央線東小金井駅周辺にあります。駅前の第1グラウンドは、野球、アメリカンフットボール、サッカーなどに使用できる多目的使用の屋外運動場で、クラブハウスが併設されています。駅から約6分のところにはテニスコートがあります。

建学の精神

学校法人日本歯科大学建学の精神は「自主独立」であり、本学建学の目的を「心・技・体が調和した人間性豊かな歯科医療スペシャリストの育成」としています。

アドミッションポリシー

本学の基本理念と教育目標を達成するために、十分な学力と高い目的意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな人を求めています。

教育の理念

本学学則には、その目的を「本学は、教育基本法および学校教育法の精神に基づき、歯科技工および歯科衛生に関する専門の知識と技術を教授研究し、豊かな教養と人格を備えた、高度な医療技術者を育成し、もって国民の保健医療の向上に寄与する。」と規定しています。この目的を体として、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識・技術および倫理観など、学・術・道を兼ね備えた歯科技工士と歯科衛生士を養成します。

カリキュラムポリシー

教育の理念に基づき、歯科医療スペシャリストの育成のために基礎分野・専門基礎分野・専門分野および選択必修分野が系統的・段階的に学習できるようにカリキュラムを編成します。また、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

■歯科技工学科

1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野・専門基礎分野・専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成しています。
2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な

思考力と感性を備えることができる授業科目です。

3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力を修得できる授業科目です。
5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

■歯科衛生学科

1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野・専門基礎分野・専門分野・選択必修分野の4分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成しています。
2. 基礎分野の科目は、歯科衛生士として具備すべき幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
4. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目です。
5. 選択必修分野の科目は、高度先進歯科医療、チーム医療や国際貢献など、時代のトピックスを見据え、それらの知識・技術を修得できる授業科目です。
6. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

■専攻科歯科衛生学専攻

1. 教育の理念に基づき、教育課程を、講義・

- 演習・実習を中心とする専門分野、関連科目分野の2分野に大別し、歯科衛生活動の専門性を高めるために系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成しています。
2. 専門分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして生涯にわたって歯や口腔の健康を維持、増進、機能の回復を図り、人々の健康を支援するための理論を演習や実習を通して、歯科衛生活動に必要な判断力や自ら研究することのできる総合的な能力を修得できる授業科目です。
 3. 関連分野の科目は、保健・医療・福祉の領域からヘルスプロモーションの概念を中心とするフィールド実習や歯科衛生活動を実践するうえで自らの問題点を科学的根拠に基づいて解決する研究能力を修得できる授業科目です。
 4. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院および多摩クリニックの協力を得て、教育内容の充実を図ります。

教育の目的

■歯科技工学科

■歯科衛生学科

教育の理念を具現化するために、歯科技工学科では2年間、歯科衛生学科では3年間の在学期間中に、一般教養科目の充実を図って短大教育の特色を出し、専門科目については、歯科医療の基礎と臨床に関する最新の講義と基礎・臨床実習を行います。高度の専門知識と技術、応用的研究能力、さらに豊かな人間性を身につけた歯科技工士・歯科衛生士の総合的な教育を行い、グローバルな視点を持ち、歯科医師とのチーム医療により、国民の歯科保健増進に総合的に寄与する人材を育成することを目的としています。

■専攻科歯科衛生学専攻

専攻科歯科衛生学専攻では歯科衛生学科で学んだ基礎的知識の上に、更に専門的知識と高度な技術を修得して、応用能力を備えた指導者となり得る歯科衛生士を育成することを目的としています。

教育の目標

1. 幅広い教養と倫理観を持った歯科技工士・歯科衛生士を育成します。
2. 人間性豊かで人の痛みが判る優しい歯科技工士・歯科衛生士を育成します。
3. コミュニケーション能力が優れた歯科技工士・歯科衛生士を育成します。
4. 歯科医学の最新の知識と技術を生涯学び続ける意欲と能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成します。
5. 将来の良質な歯科医療の確立を目指し、応用的研究能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成します。
6. 社会の要求とEBM(Evidence Based Medicine)を重んじた歯科医療に貢献する歯科技工士・歯科衛生士を育成します。
7. 問題を見いだし解決する能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成します。
8. 地域医療に貢献できる歯科技工士・歯科衛生士を育成します。
9. 健康増進に貢献できる歯科技工士・歯科衛生士を育成します。
10. グローバルに活躍する歯科技工士・歯科衛生士を育成します。

ディプロマポリシー

■歯科技工学科

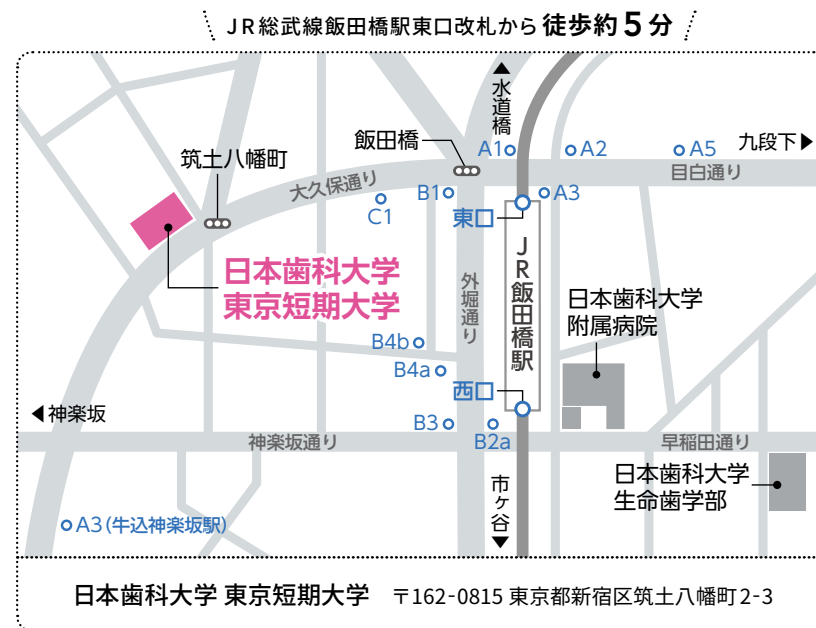
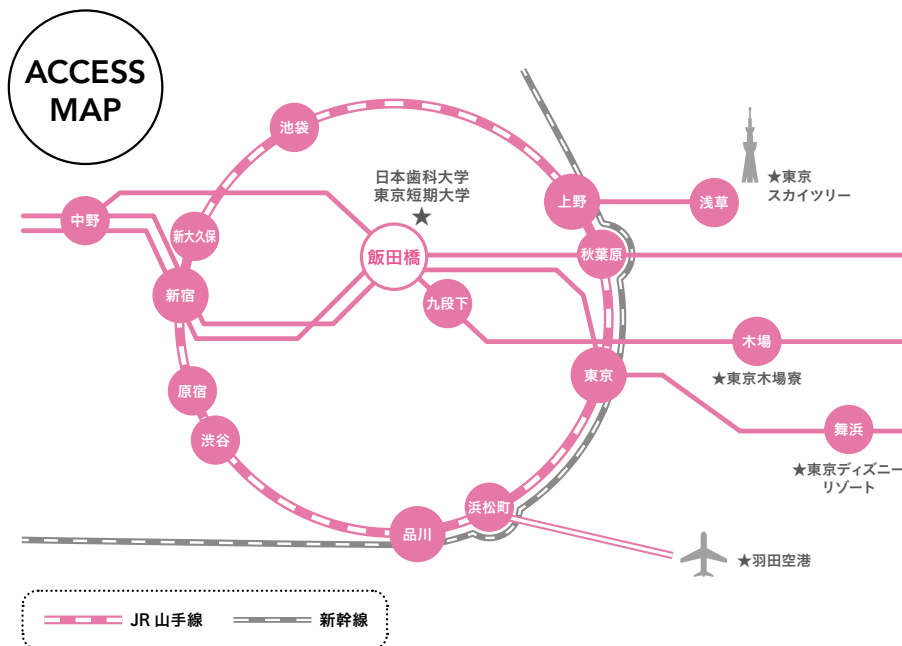
本学学則に定められた歯科技工学科における所定の単位を取得し、教育の目標を達成したと判断される者に学位(短期大学士)を授与します。

■歯科衛生学科

本学学則に定められた歯科衛生学科における所定の単位を取得し、教育の目標を達成したと判断される者に学位(短期大学士)を授与します。

■専攻科歯科衛生学専攻

本学学則に定められた専攻科歯科衛生学専攻における所定の単位を取得し、教育の目標を達成したと判断される者に修了証を授与します。



日本歯科大学東京短期大学

OPEN CAMPUS

日本歯科大学東京短期大学では、本学を良く知っていただくため、オープンキャンパスを実施しています。入学試験や学生生活など、何でもご遠慮なくご相談ください。高校生・保護者・社会人・大学生など、皆様のご参加をお待ちしています。

6/29(日) ◆ 7/20(日) ◆ 8/1(金) ◆ 8/22(金)

歯科技工学科 限定開催 ▶▶▶ 8/8(金) ◆ 12/25(木)

お問い合わせ

03-3266-5061 (入試課)
nducol@tandai.ndu.ac.jp

日本歯科大学東京短期大学

本学ではオープンキャンパスのほか、オンライン個別相談会、個別の学校見学も歓迎しております。詳細はホームページでご確認ください。



JUNIOR COLLEGE
ACCREDITED
2023

日本歯科大学東京短期大学は令和5年度(一財)短期大学基準協会による認証評価の結果、適格と認定されました。

The Nippon Dental University College at Tokyo

